

羽生田 だより

すべての人にやさしい **医療 介護** を



令和6年8月発行

37号

羽生田たかし国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319 FAX:03-6551-0319

羽生田たかし群馬事務所

〒371-0022
群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680 FAX:027-289-8681



大阪府医師会会長
中尾 正俊



参議院議員
自民党厚生労働部会長代理
羽生田 俊



自民党大阪府第七選挙区支部長
前衆議院議員
とかしきなおみ

北大阪健康医療都市「健都」

地域医療、多職種連携に通ずる市民参加型街づくり

羽生田 本日は自民党衆議院大阪府第七選挙区支部長であり、薬剤師資格をお持ちで厚生労働副大臣などを歴任された、とかしきなおみ先生と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府

と、先般5月の大阪府



日本眼科医会と意見交換



大阪府医師会会員の先生方・渡嘉敷なおみ先生と意見交換



岩見沢市医師会を訪問



空知南部医師会を訪問



上川郡中央医師会を訪問



深川医師会を訪問



旭川市医師会を訪問



赤平市医師会を訪問



美幌市医師会を訪問



富良野医師会を訪問



北海道医師会松家会長を訪問



芦別市医師会を訪問

未来は創る、私は挑む。

前衆議院議員 とかしきなおみです。専門は、厚生労働と環境。4期衆議院議員を勤めましたが、現在落選中。捲土重来を期して、日々ビラ配りやあいさつ回りの日々を送っています。私の選挙区は、大阪の吹田市と摂津市を地盤とした、大阪7区です。地元には「北大阪健康医療都市(健都)」があります。この街は、「病を発症させない医療」への挑戦をする場所として造られています。国政に戻って、健都を活用し日本の医療の新たな挑戦のために、全力を尽くしたいと思っています。



自民党大阪府第七選挙区支部長
前衆議院議員

とかしきなおみ

【略歴】
1962年 京都市生まれ
昭和大学薬学部 卒業(薬剤師免許取得)
株式会社資生堂 入社
早稲田大学ビジネススクール 卒業
東京都杉並区議会議員 連続2期
2005年 衆議院小選挙区(吹田市・摂津市)で初当選
【これまでの主な役職】
厚生労働副大臣
環境副大臣
衆議院厚生労働委員長



とかしきなおみ後援会事務所
〒564-0026 大阪府吹田市高浜町9-16
TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536

公式ホームページ
<https://n-tokashiki.jp>
とかしきなおみ



LINE 公式アカウント
開設しました
登録をお願いします

【羽生田たかし国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319
FAX:03-6551-0319

【羽生田たかし群馬事務所】
〒371-0022
群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680
FAX:027-289-8681

羽生田たかし公式サイト▶
<https://www.hanyuda-t.jp/>
羽生田たかし 検索
公式アカウント▶@hanyuda_takashi
メール▶mail@takashi-hanyuda.com



公式サイト



中尾会長 羽生田先生の言われた、医療提供者側も高齢化をしているというのは、まさに実感として感じています。その中で改革として行われるDXなどは高齢の方には難しく、かつそのDXの為に専門担当を一人置かないといけないようになっていくという現実もあります。一方でオンライン診療などもコロナ禍に一気に広がった感で否定をするものではなく、

医療現場にあわせたDXを活用できる仕組みづくりを

師会が担う事が出来るのか、これからの医師会の役割は、何なのか、

であり、医療は信頼関係により構築されるものだと確信しているからです。あくまでもDXはその手助けの材料に過ぎないと思っています。地域医療を考えたとき、この手段に助けられる事も多くなるかもしれませんし、それを医療側から提案している仕組み作りや、



中尾 正俊

大阪府医師会 会長
日本医師会 理事
大阪府医師国保組合 理事長
大阪府医療審議会 会長
大阪府医療対策協議会 会長

羽生田 俊

参議院議員(平成25年当選2期目)
参議院厚生労働委員会理事
自民党厚生労働部会長代理
前厚生労働副大臣
元参議院厚生労働委員長

とかしきなおみ

自民党大阪府第7選挙区支部支部長
前参議院議員
【これまでの主な役職】
厚生労働副大臣
環境副大臣
衆議院厚生労働委員長

真に患者のための地域医療を守るための議論していかなければならぬと感じています。

とかしき前参議院議員
医療はデジタル技術や医療技術がどんどん進んでくるので、時代と共にどうしても変わらざるを得ません。確かにウェブ会議は便利になったけれど、やっぱり会わないと伝わらない空気感みたいなものは出てきます。デジタル会議と対面の違い、これはまさに地域医療の強みである対面と通じるものであり、小さな変化や普段との違い



先生の言うこれまでの経験と知識を地域に残して行かねばならないと感じました。

話は尽きませんがお時間となりました。とかしき先生には一刻も早く国政復帰をして頂き国民そして大阪の為にますます活躍を頂かねばと心から感じました。地域医療をずっと支えてこられた中尾会長としっかり連携して頂き、大阪を盛り上げて頂く事をお願いして対談を閉じたいと思います。ありがとうございます。

予防医療には一次・二次・三次予防とあります。それぞれの予防は診療報酬では十分な財源確保が難しい、そうなると思

医療提供者の高齢化と都市への一極集中から地域医療を守るために

者さんからもうしかないといいことで、予防をしっかりと成り立たせる。更に医療・治療にかかる時間をなるべく早く終わるよう、投薬も期間も量も少なく出来るよう、普段から健康管理をどうするべきかというアドバイスできる拠点として

く関わりと私も考えています。医療がなければ人は住み続ける事ができません。現在高齢化がすすみ患者さんや住民だけでなく医療者も歳をとってしまいました。医療提供者の高齢化というのは進んでいくと思っております。そのなかで事業承継や地域の医療資源をどう



う絶やさず守っていくのは大きな課題となっています。人口減少社会が提唱され現実と違っていなかった都市消滅が現実味を帯びてきました。無医村をどうカバーするかと同時に、都市への一極集中が顕著になっていきます。この中で地域医療を何とか守ってゆかなければなりません。先程中尾会長から言われた医師の働き方改革に関しては、この地域医療に大きな影を落とすことのないよう制度運営に地域医師会ひいては日本医師会もしっかりと関わっていかねば一旦壊れた地域医療を再構築することは容易ではありません。跡取りが戻ってくるまでと踏ん張ったが、戻ってこないといった声や、この状態を継がせたく無いつつ声まで聞こえています。地域に医療を残すこと、地域に医療があることが当たり前で、地域に医療政策を打つ最後通告を受けていると感じています。

